

全学入学前教育プログラムについて

ー 保護者プログラムの途中経過報告 ー

御 厨 まり子^{*}

1. はじめに

今年度は、年内推薦系の入試で合格をした入学予定者に実施していた通信添削の課題配布だけではなく、入学前教育の対象者をまず大学に呼び、入学予定者向けのプログラムを行った。また今年の一つの特徴としては、入学予定者の保護者にも「保護者ガイダンス」を開催した。目的として、本学における教育方針、理念等の説明、および本学における入学前教育について趣旨説明を行うプログラムを開催していくことである。本来であれば、入学予定者のみに入学前教育の趣旨説明をするだけで良いことかもしれない。しかし、入学予定者が大学入学するまでの数ヶ月間を、大学入学後にスムーズにスタートできるようなウォーミングアップ期間として学習習慣を継続させ、入学前の間に学習に取り組んでもらうためには、家庭での支援・見守りが大変重要であり協力と理解を得たいという要素も含まれていた。それは、大学としての取り組んでいる姿勢、支援体制を理解してもらうことが、入学後の不安を解消にもつながり、安心感をもって本学へ入学させてほしいという意図も含まれる。

今回は、プログラムが実施途中であるが、参加者のアンケートも含め、12月末までの現状として報告したい。

2. 保護者プログラムについて

AO入試を皮切りに、10月24日から2月6日までの間に下記の日程で入試区分別、受け入れ人数等も検討し、今年度は6回に分けて実施することで計画をした。

12月末現在で既に保護者ガイダンスを5回実施し終了した。

表1 保護者ガイダンス日程と対象者

回数	日程	対象者
1	平成22年10月24日(日)	AO9月入試合格者
2	平成22年11月28日(日)	AO10月入試合格者
3	平成22年12月19日(日)	指定校推薦入試(経済学部除く)
4	平成22年12月25日(土)	公募制推薦、明星高校、卒業生子女
5	平成22年12月26日(日)	指定校推薦入試(経済学部)
6	平成23年2月6日(日)	AO12月入試合格者

保護者ガイダンスのスケジュールは、下記のとおりプログラムで行ったが、各入試合格者数により、対象者人数を把握しながら、教室変更やプログラム進行を変更して行った。

^{*} 明星大学明星教育センター

- ・ 本学の教育理念・方針について
- ・ 明星大学の全学入学前教育について（プログラム趣旨説明、通信教材説明他）
- ・ 入学後の学生サポート体制について（履修、学生生活、奨学金、就職等）
- ・ 質疑応答への回答 等

保護者プログラムを実施するにあたり、説明者として教育理念・方針、入学前教育については佐久間副学長が説明を行い、学生サポート体制については、教務企画課、学生サポートセンター、キャリアセンターの職員が担当し説明を行った。説明部署によっては、在学生在が保護者に対し学生生活の様子などを発表させる場面などもあった。

3. 保護者プログラムの参加状況

12月末までの状況で、参加者は次のとおりである。予想をはるかに上回り、875名の保護者（同伴者含む）が参加され、関心があったことが伺える。

日程	対象者	当日出席者※	参加率
10月24日（日）	205名	167名	81.5%
11月28日（日）	162名	134名	82.7%
12月19日（日）	408名	340名	83.3%
12月25日（土）	109名	97名	89.0%
12月26日（日）	177名	150名	84.7%
小計	1061名	875名	82.4%

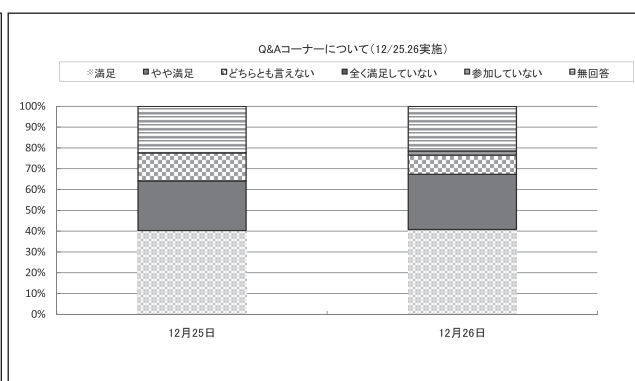
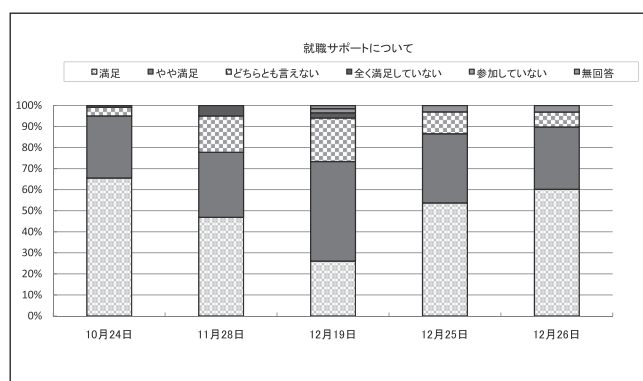
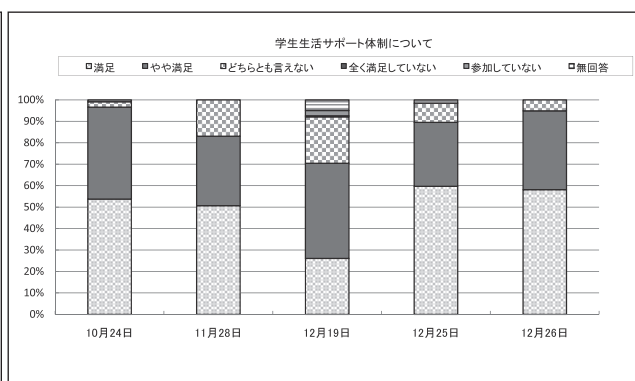
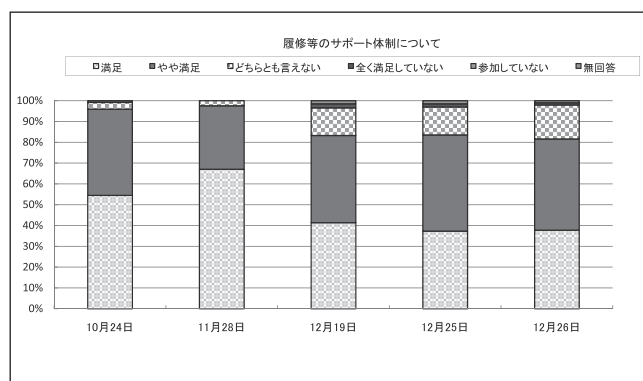
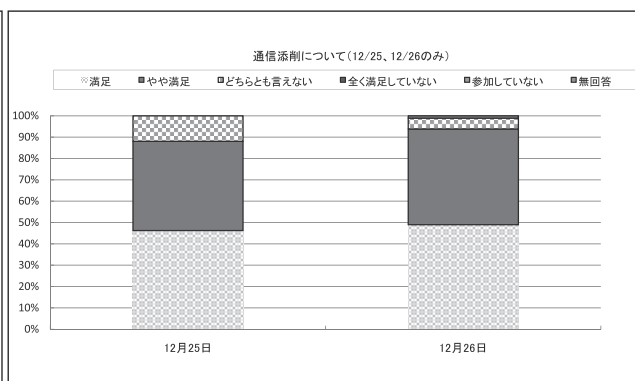
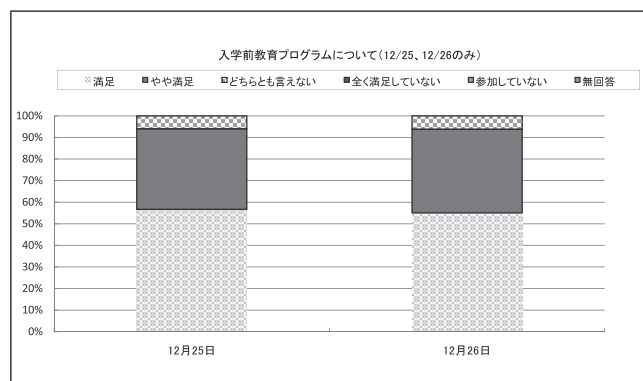
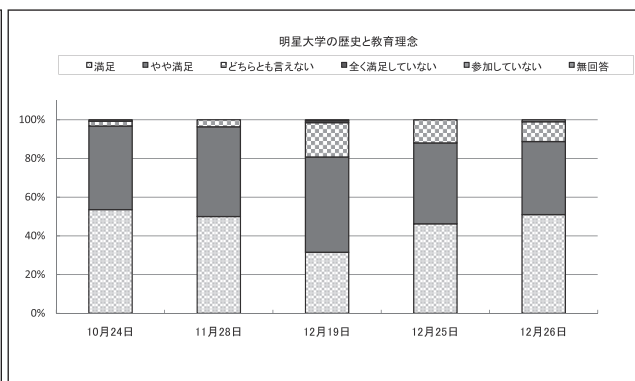
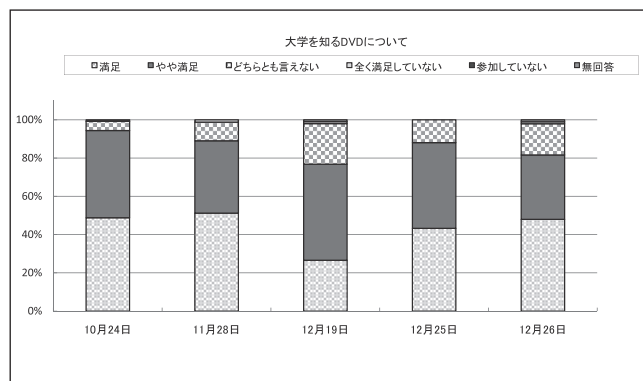
※当日出席者は延べ人数である

4. 保護者アンケート結果から

保護者向けプログラムは、今年度が初めてであり、実施に際して、次年度以降の参考となるように毎回アンケートを実施し、65.7%の保護者から回答（12月末現在）があった。アンケートでは、プログラム内容に沿って満足度を5段階で実施し、今後のプログラムとして追加してほしい内容や、感想等についても多く寄せていただいた（P.79 グラフ参照）。質問の主な内容としては、入学後直近に関する内容が多く集まった。ただ就職にも関心はありながらも、まだ合格したばかりの保護者にとっては、まだ少し先の話という印象があるようにも見受けられ、質問とすると奨学金に関する内容や、学修、履修、単位に関する内容だった。

また大変良かったと多くのコメントをいただいた内容は、「在学生在が保護者の前で話す時間を設定したこと」だった。特に、保護者の勤労奨学生への関心は強く、学内でどんな活動をしているのか、具体的な内容や学生生活・学業との様子などの発表や、就職内定した女子学生が就職活動中の様子を発表させたことが、保護者にとっては入学する大学の在校生がどのように学生生活を過ごしているのかが垣間見られ、在在学生を通じて理解された様子が伺えた。

全学入学前教育プログラムについて —保護者プログラムの途中経過報告—



5. 今後の展望

初の試みでもあり、毎回の保護者のアンケート回収をもとに微調整を行いながら実施を行ってきた。アンケートの結果からも、参加された保護者からは、「大学の方針や教育理念をはじめ、事務部署からの丁寧な説明があり、在学生から話もきけて参加してよかった」の好評の意見を多く得られたことは良かった結果であったと考える。

しかし、保護者からは、初の試みであったが、拘束時間が長い、内容等についてもご意見も多く寄せられたことも事実である。次年度に向けては、この開催時期において大学に来学してもらい、合格が決まった入学予定者の保護者へ伝えるべきことは何であるかをもう少し議論を行い、ポイントを絞ってガイダンス内容を今後検討していく必要があると考える。

ただ、入学前教育としての一環で保護者ガイダンスを実施することは、推薦系の合格者が多い本学にとっては、保護者とより親密な連携をとれるような仕組みづくりを入学前からできることは、保護者に対しても、大学への理解や大学への安心感、信頼感を得られることとなり、入学予定者が大学4年間の学生生活を4月からスムーズにスタートをされるように保護者からもフォローしてもらおう色々なきっかけにこのプログラムがなればと考え更なる充実を図っていききたい。

